

# 小須戸公民館報

町館日 須田月 戸田月 中央月 小中月 須田月 中央月 小中月 須田月 中央月 小中月

## ふるさと創生1億円 考えよう夢の使い道

～あなたならどう使う？～



座談会参加者氏名 (敬称略)

- ・村井 豊 (本町2)
- ・川瀬 雅司 (文京町2)
- ・向 (小町1)
- ・村井 豊 (本町2)
- ・欣幸 (本町1)
- ・吾子 (本町1)
- ・吉田 黒田 (公民館編集委員長)
- ・池田 黒田 (小須戸町教育長)
- ・榎 克己 (小須戸町教育長)
- ・水 沢 喜代志 (司会・中央公民館)



川瀬さん このお金は、ばつと出さないとね。池田さん 温泉水を掘りあげたら、天ヶ沢のあたりは水がぬるから油の下からきつと出るおね。

古川さん スポーツの活性化を望みます。特に指導者の育成と充実が必要と思つてます。目黒 町は町づくりにどこをポイントとしているのかはつきりして欲しい。特徴ある町づくり

村井さん 花と緑の植物園を作る。あ、動物園もいよね。目黒 花道通りができないですかね。



目黒さん 地域の課題は様々です。すべてを一時期に解決する事は不可能でしょう。町の活性化も同じ事が言えるのではないのでしょうか。よりよい町に成り得るか否かは、一億円のきつかけとして、私達町民ひとり一人が、住みよい町づくりを本当に感じ、考え、行動する事から始まるのではないのでしょうか。

小須戸町では「ふるさと創生事業」一億円の使い道を検討委員会や、公民館等に設置されたアイデアボックスなどで町民の意見を参考に検討しています。そこで、中央公民館では、ふるさと創生一億円の夢の使い道を語り合ってみました。そして同時に小須戸町の活性化を考えてみます。司会 今日ふるさと創生一億円の夢の使い道を話し合つて行きたいと思つています。池田 とにかく町民みんなが平等に使える事にすべきだね。榎 私は国際化社会に対応しなければならぬ時代がくると思ふ。だから国際化に対応する人材育成に使つたらどうかと思ふね。村井 たしかに外を見なければならぬ。若し世代が交流をして視野を広める事はいいことですね。吉田 花と緑にふさわしい町づくりを望みたいですね。もっと観光地化を図つたらどうですか。池田 河川敷の土手を利用して四季の花を植えて遊歩道を作つたらどうでしょう。信濃川を利用するおね。

池田 温泉水を掘りあげたら、天ヶ沢のあたりは水がぬるから油の下からきつと出るおね。村井 このお金は、ばつと出さないとね。池田さん 温泉水を掘りあげたら、天ヶ沢のあたりは水がぬるから油の下からきつと出るおね。

吉田さん 地域の人々のバックアップが必要ですね。花の手入れも自然にするようにならないければ、ただフラワーボックスをやつても花は咲かないでしょうね。古川 桜並木も町民が集まりにくい。せめて下の道を一定期間車両通行止めにして欲しいね。司会 最後に町への活性化の要望をお聞かせします。池田 子供達が健康に育つ事が大切。創造力を伸ばせる環境作りが欲しいね。吉田 町の活性化が第一です。人が集まり、にぎわう町づくりを望みます。村井 町は誇れる町であつて欲しい。子供も町を愛する気持ちを持つて育つて欲しい。もっと人間形成に力を注ぐべきだと思ふおね。

池田 ドームなら熱帯果樹園にしねばだめだね。目黒 提外地で大イベントをやつたら、夕日コンサートとか。村井 二十四時間ぶつとおしでのイベントは若いもんが集まると思ふ。川瀬 キャンプ場やアスレチックなんかも人気が出ていいと思ふおね。司会 花と緑への話しはどうですか。村井 花と緑の植物園を作る。あ、動物園もいよね。目黒 花道通りができないですかね。

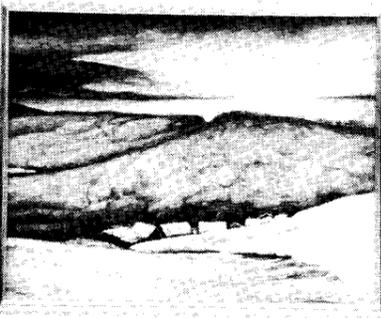
### ちょこっと一言 (16)

充実した社会福祉を  
先日、新津市内で「ベル・ジュバンスシンポジウム」という催し物があり参加しました。その時、ろうあ者に対し、講師のお話を理解してもらう為、手話で説明する方がいました。大変よいことと思つています。今、世の中は「社会福祉」という言葉が色々な所で使われて

中央町五  
山崎マツ江さん

います。あまつさえ、社会福祉という言葉だけが先行している世の中という気がします。弱者の為の社会福祉を行政から、そして私達も心がける事が大切ではないでしょうか。「シンポジウム」での収益金が社会福祉協議会に寄附されたとの事。どうか有効に使われま

### '89 県展入選作品 (2)



「漁秋」 渡辺チイさん  
荒々しい自然に備えた浜辺の晩秋の静かなひとときをわいてみました。

「辺境(春)」 星野富作さん  
北限の厳しい環境の中でようやく春を迎えたおだやかなさを表現したかった。

今月の健康づくり標語

ストレスは  
仲間作りで  
追い払い

矢代田 本多弘次さん

『行方不明の人を捜す相談所』(無料)開設のお知らせ

皆さんの家族や知り合いの人の病氣などを苦にして家出をした。外出したまま行方が分からなくなった。出様先から便りが途絶えた。相談所では、全国各地で亡くなられ、身元の分からない方の写真や持ち物などの資料を多数用意してお待ちしております。

一、巡回相談所(午前九時から午後五時まで)

月	日	場	所
八月二日(水)		新発田警察署	(電話 22-5151)
八月四日(金)		三条警察署	(電話 32-1331)
八月七日(月)		長岡警察署	(電話 32-2121)

二、常設相談所(午前九時から午後五時まで。第一・第三土曜日は午前中)

月	日	場	所
八月中(巡回相談日、日曜日及び第二・第四土曜日を除く)		県警察本部鑑識課	新潟市新発田四番地一 電話 284-3131 内線 2533・2537

防ごう非行、助けよう立ち直り

社会を明るくする運動小須戸町実施委員会

